

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

コード番号 4820 URL https://emsystems.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國光 宏昌

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営戦略室長 (氏名) 小林 大悟 TEL 06-6397-1888

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	17,755	16.8	3,201	77.5	3,715	68.9	1,510	11.3
2023年12月期第3四半期	15,198	21.7	1,804	△14.6	2,199	△10.5	1,357	△17.4

（注）包括利益 2024年12月期第3四半期 1,461百万円（0.8%） 2023年12月期第3四半期 1,450百万円（△14.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	21.54	21.47
2023年12月期第3四半期	19.21	19.15

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	28,990	19,800	68.0
2023年12月期	29,387	20,566	69.6

（参考）自己資本 2024年12月期第3四半期 19,719百万円 2023年12月期 20,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	7.00	-	7.00	14.00
2024年12月期	-	9.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	20.00	29.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,739	16.6	3,797	63.0	4,501	56.9	1,978	0.8	27.99

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	74,514,800株	2023年12月期	74,514,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	5,065,894株	2023年12月期	3,818,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	70,138,331株	2023年12月期3Q	70,675,864株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、欧米を中心とした金融引き締め姿勢が継続し、為替相場円安の推移により、エネルギー・原材料価格の高止まりなど景気動向の先行きにつきましては、不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先である医療業界におきましては、2024年は6年に一度の医療・介護・福祉サービス同時での報酬改定の年となり、実施時期についても、各種報酬改定の実施時期が年内に分散し、報酬点数の変更や算定方法が変更となる頻度が増加しております。また、報酬改定の方向性としては、医療介護従事者の人材確保や賃上げに向けた取組として診療報酬を引き上げる一方、医療DXによる効率化や適正化を通じて医療保険制度の安定性・持続可能性の向上する方針になっております。

当社グループにおきましては、医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現に向けて、オンライン資格確認システム運用対象範囲の拡大、電子処方箋の推進普及が見込まれる中、当社グループもオンライン資格確認システムの導入対応に続き、新規運用対象となりました医療扶助への対応、電子処方箋の導入設置を順次拡大し、当第3四半期連結累計期間における導入設置済の件数が想定を上回ったものとなりました。

当社グループの各セグメント事業におきましては、前年度の組織編成を通じて従来の対面型中心の営業からインサイドセールスを強化したことに伴い、より効率的に案件の創出に繋がる営業活動が着実に進んでおり、また、サイトリニューアル、MAツール活用、動画、導入事例コンテンツ強化などデジタルマーケティングの活用により、潜在的な案件獲得も続けております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間においては、前年度期中に株式会社グッドサイクルシステムと株式会社ユニケソフトウェアリサーチをそれぞれ連結子会社したことや医療DXへの対応が進んだことにより、売上高及び営業利益は前年同期比で増加しました。なお、医科システム事業と介護/福祉システム事業では減損損失を計上していません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高17,755百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益3,201百万円（同77.5%増）、経常利益3,715百万円（同68.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,510百万円（同11.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(調剤システム事業)

調剤システム事業につきましては、オンライン資格確認システム集中需要が一巡しましたが、当第3四半期においてはチェーン薬局を中心に、電子処方箋及び関連オプションソフトの導入設置が加速したことに加え、株式会社グッドサイクルシステムと株式会社ユニケソフトウェアリサーチが連結対象となったことにより、お客様数の増加に伴う課金売上高をはじめ、セグメントの売上高と営業利益がともに増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の調剤システム事業は、売上高14,733百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益3,801百万円（同75.2%増）となりました。

(医科システム事業)

医科システム事業につきましては、組織体制の再構築に加え、デジタルマーケティングを活用し幅広いアプローチを行っております。

「MAPs for CLINIC」の販売拡大によりセグメントの課金売上高が順調に伸びております。一方、オンライン資格確認システムの集中需要が一巡したことに加え、第2四半期においてシステム障害への事後対応費用を計上したことにより、営業損失が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の医科システム事業は、売上高1,840百万円（前年同期比18.2%減）、営業損失340百万円（同営業損失20百万円）となりました。

(介護/福祉システム事業)

介護/福祉システム事業につきましては、既存製品のリプレースによる保守売上高が減少しましたが、大型介護施設への「すこやかサン」の導入により、初期売上高が増加したことに加え、「MAPs for NURSING CARE」ライセンス数の増加による課金売上も堅調に推移しております。さらに、セグメント固定費用負担の改善により、営業損失が小幅に縮小しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の介護/福祉システム事業は、売上高447百万円（前年同期比7.4%増）、営業損失320百万円（同営業損失404百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、チョキ株式会社のキャッシュレス事業及び益盟軟件系統開發(南京)有限公司のシステム事業の伸長に加え、株式会社ユニケソフトウェアリサーチの人材派遣事業が貢献したことにより、売上高及び営業利益は増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高849万円(前年同期比26.5%増)、営業利益47百万円(同90.8%増)となりました。

(上記セグメント別の売上高及び営業利益(損失)は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。)

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は16,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,274百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が849百万円、受取手形及び売掛金が697百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は12,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,672百万円減少いたしました。これは主に、医科システム事業と介護/福祉システム事業において減損損失の計上等により、ソフトウェアが1,083百万円、建物及び構築物が156百万円、のれんが160百万円、その他無形固定資産が128百万円等減少したことによるものであります。

この結果、総資産は28,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ397百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,802百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,183百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が659百万円、賞与引当金が318百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は2,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ815百万円減少いたしました。長期借入金749百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は19,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ765百万円減少いたしました。これは主に、自己株式の取得により789百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.0%(前連結会計年度末は69.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しについては、これまでの実績並びに最近の事業環境を踏まえ、業績が変動する見通しであることから通期の連結業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日(2024年11月14日)公表の「2024年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,441	10,291
受取手形及び売掛金	3,082	3,779
棚卸資産	1,143	920
その他	1,132	1,084
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,800	16,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	575	419
土地	474	348
リース資産（純額）	65	29
その他（純額）	214	301
有形固定資産合計	1,330	1,099
無形固定資産		
ソフトウェア	2,296	1,213
ソフトウェア仮勘定	164	41
のれん	1,475	1,314
その他	1,250	1,121
無形固定資産合計	5,186	3,691
投資その他の資産		
投資有価証券	962	844
投資不動産（純額）	6,393	6,246
その他	725	1,045
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	8,070	8,123
固定資産合計	14,587	12,914
資産合計	29,387	28,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,121	1,155
1年内返済予定の長期借入金	966	837
未払金	997	1,175
リース債務	36	37
未払法人税等	241	901
賞与引当金	348	666
契約負債	877	896
その他	1,028	1,132
流動負債合計	5,618	6,802
固定負債		
長期借入金	1,527	777
リース債務	37	3
退職給付に係る負債	135	128
製品保証引当金	3	1
長期未払金	396	396
長期預り保証金	763	754
その他	339	324
固定負債合計	3,202	2,387
負債合計	8,821	9,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,785	2,785
資本剰余金	3,376	3,104
利益剰余金	16,101	16,486
自己株式	△1,990	△2,780
株主資本合計	20,272	19,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	2
為替換算調整勘定	106	121
その他の包括利益累計額合計	191	124
新株予約権	56	55
非支配株主持分	45	25
純資産合計	20,566	19,800
負債純資産合計	29,387	28,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,198	17,755
売上原価	7,766	8,282
売上総利益	7,432	9,473
販売費及び一般管理費	5,628	6,272
営業利益	1,804	3,201
営業外収益		
受取利息	4	8
不動産賃貸収入	723	800
その他	18	31
営業外収益合計	747	839
営業外費用		
支払利息	5	6
不動産賃貸費用	303	285
持分法による投資損失	35	—
その他	7	33
営業外費用合計	352	326
経常利益	2,199	3,715
特別利益		
退職給付制度終了益	33	—
特別利益合計	33	—
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	9	47
段階取得に係る差損	140	—
減損損失	—	1,344
特別損失合計	152	1,392
税金等調整前四半期純利益	2,081	2,323
法人税等	725	793
四半期純利益	1,355	1,529
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,357	1,510

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,355	1,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△83
為替換算調整勘定	39	15
退職給付に係る調整額	26	—
その他の包括利益合計	95	△67
四半期包括利益	1,450	1,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,452	1,443
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	887百万円	1,067百万円
のれんの償却額	142百万円	160百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護/福祉シ ステム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	5,734	1,448	30	—	7,214	—	7,214
課金売上	4,164	625	171	—	4,961	—	4,961
サプライ売上	1,384	42	—	—	1,427	—	1,427
保守売上	656	132	213	—	1,002	—	1,002
その他の事業売上	—	—	—	593	593	—	593
顧客との契約から生じ る収益	11,939	2,249	416	593	15,198	—	15,198
外部顧客への売上高	11,939	2,249	416	593	15,198	—	15,198
セグメント間の内部売 上高又は振替高	14	—	—	77	92	△92	—
計	11,953	2,249	416	671	15,290	△92	15,198
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	2,169	△20	△404	25	1,769	34	1,804

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤システム事業」セグメントにおいて、株式会社グッドサイクルシステムの株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、第1四半期連結累計期間にのれんが532百万円発生しています。

また、第2四半期連結会計期間に実施した株式会社ユニケソフトウェアリサーチ及び同社の管理目的会社である株式会社Launchpad13の株式取得について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算定された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんの金額を修正しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護/福祉シ ステム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	7,340	1,057	84	—	8,482	—	8,482
課金売上	5,166	652	183	—	6,002	—	6,002
サプライ売上	1,525	39	0	—	1,565	—	1,565
保守売上	687	90	179	—	957	—	957
その他の事業売上	—	—	—	747	747	—	747
顧客との契約から生じ る収益	14,719	1,840	447	747	17,755	—	17,755
外部顧客への売上高	14,719	1,840	447	747	17,755	—	17,755
セグメント間の内部売 上高又は振替高	13	—	—	101	115	△115	—
計	14,733	1,840	447	849	17,871	△115	17,755
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	3,801	△340	△320	47	3,188	13	3,201

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医科システム事業」及び「介護/福祉システム事業」セグメントにおきまして、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「医科システム事業」423百万円、「介護/福祉システム事業」920百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。